事業概要書（別紙①）

**写真等**

|  |
| --- |
| 事業について |
| 目的 |  |
| PRポイント |  |
| 内容 |  |

|  |
| --- |
| 事業の評価 |
| 効果 |  |
| 継続性・発展性 |  |
| モデル性 |  |
| 新規性 |  |

事業名　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（都道府県・市町村名）

|  |
| --- |
| 地域の概要・実施主体・申請額等 |
| 地域の概要 |  |
| 実施主体者名 |  |
| 実施主体の概要 | ※地方公共団体は記載不要 |
| 申請額/総事業費 |  |

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　事業概要書（作例）

事業名　　　　○○町の○○な暮らし体験による移住者・関係人口創出プロジェクト　　（○○県○○町）

|  |
| --- |
| 事業について |
| 目的 | 本町での暮らしを体験する施設を整備してツアーやお試し居住を開催し、町内での暮らしを知ってもらうとともに、町内在住の高校生がそのツアーに一部関わることで町に対する愛着をもってもらう。 |
| PRポイント | 空き家数解消の一助となるとともに、移住者がお試し居住ができる施設として将来にわたり活用できる施設を整備する。町内若手世代の感性を活かすことが期待できる。 |
| 内容 | ①　お試し居住施設の整備* 空き家を改修し、お試し居住施設として活用

②　お試し居住ツアーの実施* 上記施設に３日間居住してもらい、ツアーを実施して○○町内の案内及び若手世代との交流

③　情報発信事業* プロモーションビデオ、フリーペーパー等の作成

④　首都圏で移住相談会の開催（年３回） |

|  |
| --- |
| 事業の評価 |
| 効果 | 空き家数解消　３件移住希望者見込み　15件（令和６年度）移住者見込み　10件（令和６年度） |
| 継続性・発展性 | 施設を整備することで、助成終了後も今後○○年はツアーの実施が可能である。来年度以降、ツアー実施中のコンテンツを拡充する。若手世代の循環・地域への定着により、継続性・発展性は高い。 |
| モデル性 | 遊休施設の適切な活用や、若手世代にまちづくりに関わってもらう観点から、地域活性化の事業として他分野でも展開可能であるためモデル性は高い。 |
| 新規性 | 外部の移住希望者及び内部の若手世代の双方ともに地域に愛着を持ってもらうことが期待できる点において、新規性が高い。 |

**写真等**

|  |
| --- |
| 地域の概要・実施主体・申請額等 |
| 地域の概要 | ○○町は○○県の南部に位置し、北部に○○山脈、南部に景勝地として有名な○○海岸があり、豊かな自然が保たれている。本町を含む近隣の市町に大学がないため、若者世代の転出超過による少子高齢化が進み、また、空き家率は○○％となっている。 |
| 実施主体者名 | NPO法人　○○○○ |
| 実施主体の概要 | ○○地区を主に活動拠点とし、空き家活用や移住支援、まちづくりを推進している。 |
| 申請額/総事業費 | 2,000千円/3,000千円 |